

平成31年度(令和元年度)

学校関係者評価報告書

学校法人増田学園千葉女子専門学校
学校関係者評価委員会

令和元年度 学校関係者評価報告書

I 重点目標について

○令和元年度の重点目標

豊かな感性と表現力を持った魅力あふれる保育者を育成する。

○達成計画・取組方法

- 1 授業研究・教材研究に積極的に取り組み、指導面での充実を図る。
- 2 学生の資質や能力を最大限に引き出すための実践的な保育技術等の習得又は向上をめざす。
- 3 実習先との密な連携を図り、保育実習・教育実習・施設実習の充実を図る。

○学校関係者評価

全体的にはよく取り組んでいることがうかがえる。

指導体制の更なる充実、学生の実生活環境や健康管理への配慮など、様々な視点からの見直しを図りながら、更なる向上を努めていただくとともに、社会のニーズに応えられる保育者の養成に教職員が一体となって今後も取り組んでいただくことを期待したい。

II 各評価項目について

基準1 教育目標・理念

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 本校の教育理念・目的・育成人材像については、学生、職員に対して周知されており、外部に対しては、HPや学校案内等で紹介し、その浸透に努めている。</p> <p>2 また、保育科の教育目標、育成人材像についても、本校が特に重点をおいている表現活動やカリキュラムの充実を図りながら、本校としての特徴をアピールしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で活躍している卒業生の評判を耳にすることがあるが、しっかり取り組んでいるようなので、目的にあった人材の育成ができていないのではないかと感じている。 ・学生の評価も、ほぼ教育目標を理解し、取り組んでいる姿がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生や実習先との連携を図りながら、今後も、今、求められている保育者像を追求し続け、その実現に努める。 ・令和2年4月から1、2年生とも新教育課程に基づくカリキュラムで行われる。学校案内やホームページ等も見直して、本校の特徴のアピールに努める。

基準2 学校運営

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 年間事業計画にそった運営活動は、教職員の連携のもとで円滑に推進されているが、教職員間の重複した業務を整理する必要がある。</p> <p>2 学籍等の管理システムを導入し業務の効率化を図っているが、多様な機能が含まれているため、更に職員への十分な周知を図る必要がある。</p> <p>3 学生指導においては、教員を中心とした早期の個別対応により成果が出ている面もあるが、さらに学校全体で連携しての体制づくりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動を検討されてはいかかがか。 ・今後とも、職員の連絡体制の充実を図り、また、学生の声を吸い上げながら学校運営にあたっていただけたらと考える。 ・3校が相互に関わる行事については、前年度の振り返りによる反省点の確認、活動内容の向上に向けての話し合いができる体制を整えていければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員間の役割分担と運営機能の明確化を図り、重複した業務を整理する必要がある。 ・職員会議や各種の連絡会等をとおして、教職員間の意思の疎通や共通理解を図る。

基準3 教育活動

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 きめ細かな教育活動の実現を図るため、クラス担任制で授業を展開している。</p> <p>2 学習指導においては、保育者養成機関をふまえ、事例や実践的な内容に重点を置いて、より具体的な内容を精選しながら体系的に授業展開を行っている。</p> <p>3 就職支援の一環として、公立の保育園・幼稚園をめざした公務員試験対策の学習会を実施している。</p> <p>4 実習を終えた2年生が実習体験を1年生に報告する場を設定し、職業にかかる理解を深めることができた。</p> <p>5 教員の資質・指導力の向上のため、各種研究会や発表会等への参加を積極的に奨励している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今やパソコンの操作技術は、どの業界に就職するにしても必要なスキルであり、学生にはしっかり学んでほしい。 ・ 就職後、5年未満の卒業生に来校していただき、現場の生の声を聴く機会を持つことで、職業への理解が深まると思う。 ・ 学生の立居振る舞いに変化が見られる。先生方の日々の指導の賜物と考える。 ・ 年間を通し、こども園、高校、専門学校の3校がよい形で実習に取り組んだりできるような早めの日程確認や調整できる体制を整えていければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理の授業内だけではなく、日常の資料やレポート作成においても、パソコンの有効活用の指導に努める。 ・ 約30の保育所・幼稚園等の合同説明会を本校で行う際に卒業生も来校し、ブースごとに現場の生の声が聴ける機会があるが、継続と共に更なる工夫を凝らしていく。 ・ 教育実習に出るための要件の明確化とそれを意識した日々の教育実践を一層推進する。 ・ 学校評価の内容を踏まえながら、学生の能力や資質を引き出す授業、分かりやすい授業の充実をめざす。 ・ 教員の指導力の向上を図ることを目的とした公開授業の実施や積極的な研修・研究の奨励を推進する。

基準4 学修成果

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 保育園・幼稚園・こども園等からの求人件数が今年も1,600件以上となり、希望者全員を就職させることで取り組んでいる。</p> <p>2 履修不足の学生には補講の実施等、個別指導を行いながら、卒業予定者全員に、初期の目的である保育士資格と幼稚園教諭二種免許状の両方を取得できるよう指導の徹底を図る。</p> <p>3 進路変更等により数名の退学者や休学者が出たが、個別指導や相談等をとおして、継続して学校生活を送れるよう、できる限りの環境支援を行ってきた。</p> <p>4 就職後の職場で、即戦力として活躍できるように、保育者としての知識・技術・技能の向上に努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。 ・ 学生それぞれに様々な事情があると思うが、希望して入学してきたからには、保育士資格と幼稚園教諭二種免許がとれるよう、指導の徹底をお願いしたい。 ・ 個々の学生の置かれた環境が異なり、社会情勢に応じた臨機応変な対応をお願いしたい。 ・ 保育に役立つ様々な技術や技能を身につけてあげてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士資格、幼稚園教諭二種免許の取得は当然であるが、「ピアノの歌い弾きができるようになった」など、自信を持って言える「技術・技能」を身につけさせる。 ・ 家庭的な問題等については、早めに保護者等との連絡を密にとり、学生には可能な限りのサポートを行い、退学者等の低減に努める。 ・ 引き続き、即戦力となる人材育成に努める。

基準5 学生支援

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 クラス担任や就職担当職員とともにきめ細かな就職指導やサポート体制をとっている。</p> <p>2 経済的な問題を抱える学生に対しては、学費の分納や奨学金の利用をすすめるなど、その支援に努めた。</p> <p>3 学生の健康管理の一環として、年1回健康診断を実施した。</p> <p>4 担任や関係職員、関係医療機関と連携し、保健医療体制をとっているが、学生の安全・安心の観点から更に保健衛生体制の充実が必要と考えている。</p> <p>5 こども園との連携によるキャリア教育・職業教育の伸長を図ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。 県内短大の門戸はかなり広がり、これまで聖心高校から女専に入学していた生徒が短大に流れていく傾向が高まっている。また、保育士として厳しい生徒も入学している現状である。女専は納入金が安いことは魅力の一つである。さらに魅力となるものを何か考えたい 社会情勢とともに、様々な問題を抱えた学生が入学してくると思われる。臨機応変な対応がさらに必要となり、その難しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活における学生のメンタル面にも配慮しながら、保育者になるという目的を失うことのないようにサポートしていく。 病気やけが等、保健衛生面における支援体制の充実を図る。

基準6 教育環境

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 薄型4Kテレビとブルーレイレコーダーを各教室に設置し、映像教材が授業で利用できる学習環境とした。また、各学級にコンパクトビデオカメラを購入し、学園祭や学年行事等の記録や再生に活用できるようにした。</p> <p>2 「環境教育」の一環として、四季折々の花を植え、花壇の整備を継続して行っている。</p> <p>3 地震等の災害や火災を想定した避難訓練や、保育現場にも役立つ不審者対応訓練を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 映像教材が利用できる学習環境に改善されたようなので、今後も更なる充実を図っていただきたい。 <p>学習環境の改善に取り組みされていて、学生募集にも影響があるかと思われる。その活用方法やよさなどをアピールして</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学生が利用できる図書の整備を図るなど、学習環境の更なる充実が必要である。新教育課程に対応した図書の整備については今後も予算の範囲内で計画的に実施し、学習支援の充実を図る。

基準7 学生募集

	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生募集については、募集担当の配置や高校への訪問、ホームページの活用、オープンキャンパスの開催を継続的に行うことで、募集活動に努めている。</p> <p>2 昨年度同様、本年度も高校訪問や説明会を行うにあたり、1・2年生の現役高校生を対象とした広報活動に力点を置いて取り組んだ。</p> <p>3 選考基準については明確に示し、その透明性を図り、選考や合否判定は適切に行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。 ライバル校の増加に加え、県内短大へ流れていく傾向が高まっているなど、問題は多々あるが、今後も更なる取り組みに期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の養成校としての実績をアピールしながら、高校訪問やオープンキャンパスの内容を工夫し、引き続き学生募集に努める。 見やすい、分かりやすいという視点で、学校案内やホームページ等を見直し改善し、本校の特徴のアピールに努める。

基準8 財務

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生数や事業計画に則り、収支予算を計上し、財務基盤の確保を図っている。</p> <p>2 予算執行にあたってのチェック体制は学園本部でおこなっており、監査法人による監査を年3回受け、理事会等への報告をするなど、適切な会計処理を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営が円滑に進むように、予算面での有効活用と節減に努める。 学生の学習環境の整備や施設設備の充実については、今後も引き続き、予算の範囲内で実施していく。

基準9 法令遵守

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 授業科目の単位取得は、定められた基準や条件にそって厳正に運用している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新教育課程に伴う学則の改正について、継続して検討していく。
<p>2 個人情報保護に関する規程や関係法令等に基づき、学生の個人情報等の保護の対策をとっている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価で指摘のあった問題点の改善等については、できるところから実施していく。

基準10 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
1 文化祭等学校行事への参加や招待を地域におこなっており、日頃の学習成果の発表を公開するなどしている。また、近隣の保育園児を招いて交流を図っている。	・ 今後も更なる向上に努めていただきたい。	・ 引き続き、保育活動をとおして地域交流の充実を図る。

学校法人 増田学園 千葉女子専門学校長 様

平成31年度（令和元年度）自己評価表をもとに学校関係者評価委員会の委員に評価を実施していただいた結果、上記のとおりとなりましたので報告します。

令和2年2月25日
学校法人増田学園千葉女子専門学校
学校関係者評価委員会